

授業科目 物理療法学

【担当教員名】 佐藤 成登志	対象学年	3	対象学科	理学
	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	○
【概要・一般目標：G10】 物理療法治療機器の種類や原理を理解し、さらに治療への展開やリスクを理解する。				
【学習目標・行動目標：SBO】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 理学療法における物理療法の位置づけが説明できる。 2. 各種物理療法の生理学的作用と治療目的が説明できる。 3. 各種治療機器の特性と使用方法が説明できる。 4. 各種治療機器の適応と禁忌が説明できる。 5. 各種治療機器を実施し、治療への展開が説明できる。 				
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1, 2	物理療法総論（定義・分類・生理学的作用・治療目的・適応・禁忌・等）	1～5	講義および演習、担当：佐藤 成登志	
3, 4	温熱療法（生理学的作用・目的・効果・使用方法・適応・禁忌）	1～5	講義および演習、担当：佐藤 成登志	
5, 6	寒冷療法（生理学的作用・目的・効果・使用方法・適応・禁忌）	1～5	講義および演習、担当：佐藤 成登志	
7, 8	光線療法（生理学的作用・目的・効果・使用方法・適応・禁忌）	1～5	講義および演習、担当：佐藤 成登志	
9, 10	水治療法（生理学的作用・目的・効果・使用方法・適応・禁忌）	1～5	講義および演習、担当：佐藤 成登志	
11, 12	電気刺激療法（生理学的作用・目的・効果・使用方法・適応・禁忌）	1～5	講義および演習、担当：佐藤 成登志	
13, 14	牽引療法・持続的他動運動療法・振動刺激療法（生理学的作用・目的・効果・使用方法・適応・禁忌）	1～5	講義および演習、担当：佐藤 成登志	
15	まとめ	1～5	講義および演習、担当：佐藤 成登志	
【使用図書】				
	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	物理療法 第2版	千住秀明、沖田実	神陵文庫	2009・4,500円＋税
参考書	標準理学療法学 物理療法学 第4版 EBM 物理療法 原著第3版	奈良勲、網本和 Michelle H. Cameron、渡部一 郎訳	医学書院 医歯薬出版	2008・4,700円＋税 2010・8,600円＋税
その他の資料				
【評価方法】 出席状況、期末試験で総合的に評価する。		【履修上の留意点】		